

1. 研究協力協定の締結と研究協力

(1) 国際研究協力協定締結機関との研究協力

以下の3カ国の国立研究機関との間に締結した国際研究協力協定に基づき、共同研究の打ち合わせや研究交流等を行なった。

1) 米国国立労働安全衛生研究所 (NIOSH)

職業性ストレス、振動障害、作業環境中有害金属分析法の開発に関する共同研究の打ち合わせを行なった。

平成13年 6月締結

2) 韓国労働安全衛生研究院 (OSHRI)

清掃工場でのダイオキシン曝露に関する共同研究による調査をおこなった。

平成13年11月締結

3) スウェーデン国立労働生活研究所 (NIWL)

コンピュータ作業、長時間労働ならびに職場の温度条件に関して研究交流を行なった。

平成14年 1月締結

(2) 国内研究協力協定締結研究機関との研究交流

(財) 労働科学研究所

労働科学研究所が開催したシンポジウム「安全・健康文化の構築に向けて～労働科学は何をすべきか～」を後援した。

平成14年 12月締結

2. 研究交流会

(1) 客員研究員交流会

平成16年度客員研究員交流会を平成17年3月24日、東京産業保健推進センターにて実施した。内容は下記のとおりである。

平成16年度客員研究員交流会 「職業性疲労と健康：新しいアプローチ」

演 題 名	講演者名
産医研から	
1) 一事業所の疲労蓄積度調査から見た長時間労働と健康との関連	岩崎健二 (産医研)
2) 臨床心理学的技法を用いた労働者のメンタルヘルス向上に関する介入研究	大塚泰正 (産医研)
3) 酸化ストレス指標8-OHdG	小川康恭 (産医研)
4) アーク溶接作業場における有害光線の問題	奥野 勉 (産医研)
5) 作業環境における低周波音曝露の実情に関する調査	高橋幸雄 (産医研)
6) 作業関連疾患の疫学研究センターをめざして - 共同研究計画の提案と協力をお願い 特に作業関連疾患・職業病サーベイランスシステム構築について -	毛利一平 (産医研)
客員研究員から	
1) 労働衛生の動向 - TSHM社からみた現状と課題	小出勲夫 (豊田安全衛生マネジメント(株))
2) 過重労働負荷による健康障害の予防	浜口伝博 ((株)日本アイ・ビー・エム)

- 3) 呼吸用保護具の国家検定の現状と問題点 松村芳美 (産業安全技術協会)
 4) 中国減肥薬と働く女性 南 正康 (日本医大名誉教授)
 意見交換会

(2) 産業医学総合研究所 - 産業医科大学研究交流会

平成16年度, 第9回産業医学総合研究所 - 産業医科大学産業生態科学研究所 (産医研 - 産生研) 研究交流会が産業医学総合研究所において平成17年1月18日から19日にかけて実施された。

産業生態科学研究所からは 池田 正春 教授を団長として計6名の研究者が訪問し、18日午後は研究発表会が開催され、19日午前は所内見学会が行われた。研究発表会では下記の報告と討議がなされた。

演 題 名		講演者名
産業医学総合研究所産業		
産医研における国際交流状況 に関して	長時間労働における循環器影響	田井 鉄男
ばく露影響指標への応用を目的とした遺伝子発現パターンの解析		三浦 伸彦
日本における職業病・作業関連疾患サーベイランスの現状と課題、将来の展望について		毛利 一平
作業環境中有害要因の二次元可視化システムの開発とその応用		芹田 富美雄
有機溶剤ガス吸着剤への応用に向けた新規多孔性炭素材料の合成		安彦 泰進
医科大学産業生態科学研究所		
女性労働者と月経異常		吉川 里江
産業保健研修コースにおける卒後修練	人間工学	栄多 裕子
健康増進活動が疲労感に及ぼす効果	NO Bioavailability を一つの指標として	太田 雅規
ストレスリダクションとしての思考場療法の有効性について		久保田 進也
産業医学の国際遠隔教育について		森本 泰夫

(3) 産業医学総合研究所・人体振動勉強会

前田節雄人間工学特性研究部主任研究官主催による

開催日 平成 年月日	講演者名, 演題名等
16. 5. 27	第2回産医研人体振動勉強会 1: 前田節雄 (産医研) 策定JIS規格の説明 2: 上田保典 (新キャタピラー三菱(株) 相模開発センター) 建設機械におけるEU振動指令対応およびISOの動向 3: 蓮見・吉川 (株・リオン) 策定JIS規格に対応する測定装置について
6. 28	第3回産医研人体振動勉強会 1: 浅井 祐司(タカニチ株式会社実験部) 「多軸加振器を用いた座席特性評価」 2: 前田節雄(産医研) 「第10回国際手腕振動学会の内容について」

6. 28 第3回産医研人体振動勉強会
 8. 25 第4回産医研人体振動勉強会
 Tony Keller (Spectral Dynamics, Inc.)
 「近年の多軸制御の考え方」
 12. 21 第5回産医研人体振動勉強会
 1：玉置 元(東京都立大学大学院)
 「UK2004英国人体振動学会報告」
 2：前田節雄(産医研)
 「ISO/TC108/SC4アテネ会議報告」

(4) 職業性ストレス研究会

原谷隆史作業条件適応研究部主任研究官主催による

開催日 平成 年月日	講演者名, 演題名等
16. 3 . 19	第20回職業性ストレス研究会 (於 早稲田大学文学部) 原谷隆史 (産業医学総合研究所) 「職業性ストレス調査票の活用と課題」 大塚泰正 (産業医学総合研究所) 「労働者のメンタルヘルス関連要因と対策に関する文献調査」
5 . 21	第21回職業性ストレス研究会 (於 早稲田大学文学部) 倉林るみい (産業医学総合研究所) 「海外勤務者の安全とメンタルヘルス」 渡井いずみ (東京大学大学院医学系研究科) 「乳幼児を持つITエンジニアのワーク・ファミリー・コンフリクトと健康度との関連について」
7 . 16	第22回職業性ストレス研究会 (於 早稲田大学文学部) 難波克行 (富士ゼロックス株式会社) 「全社員面談を中心とした富士ゼロックスの活動の実際」 前田一寿 (NPO法人ジョブ・ストレスケア・ジャパン) 「経営的リスクマネジメントとEAP」
10 . 29	23回職業性ストレス研究会 (於 早稲田大学文学部) 三木明子 (筑波大学看護科学系) 「病院で看護師が受ける暴力の実態と暴力防止プログラム」 岩田 昇 (広島国際大学人間環境学部臨床心理学科) 「職業性ストレス研究における測定と解析 - 基礎から最新の動向まで - 」

(5) 研究職員主催のその他の研究会一覧

研究会の名称, 趣旨・目的, 開催日	主催者, メンバー等
1) 健康度セミナー 趣旨・目的：労働者の健康度評価方法及び労働生活要因と労働者の健康との関連について検討する。 開催日：毎週火曜10：30-12：00。	岩崎健二 (主催) 倉林るみい, 佐々木 毅, 田井鉄男, 久永直見, 毛利一平, 安田彰典 (ビジターも可)

- 2) 睡眠・ストレス研究会
 趣旨・目的：労働者の睡眠に関する疫学的・実験的研究について国内外の研究状況の把握及び討議。
 開催日：原則毎週木曜日10:00-12:00。
 原谷隆史（主催）
 高橋正也，中田光紀，
 大塚泰正、甲斐田幸佐，
 深澤健二（ソニー），
 （ビジターも可）
- 3) 産医研人体振動勉強会
 趣旨・目的：研究所・企業・大学の人体振動研究関係の研究者で、人体振動関係の研究の国内外の情報を把握するための会である。
 開催日：毎月月末の金曜日15:00-17:00。を予定。
 前田節雄（主催）
 産医研外からの人体振動
 関連の研究者および関連
 企業
- 4) 遺伝子研究会
 趣旨・目的：当研究所で実施中の研究に関連した遺伝子機能の調節等についての国内外の研究状況の把握、及び当研究所で実施中の職場有害因子の遺伝子影響に関する実験の結果に関する討議。
 開催日：原則毎月最終金曜日13:30-17:00。
 小泉信滋（主催）
 山田博朋，鈴木 薫，
 三浦伸彦，小林輝一，
 上西理恵，大塚文徳（帝
 京大），他
 （ビジターも可）
- 5) 木曜研究会
 趣旨・目的：労働衛生に関する最新の話題に関する発表と討論。
 開催日：毎週木曜10：00-12：00。
 小川康恭（主催）
 毛利一平，齊藤宏之，
 吉田吏江，大場謙一，
 松本由紀
 （ビジターも可）
- 6) 職業性ストレス研究会
 趣旨・目的：職業性ストレスに関する研究発表，討論，交流を研究者，産業保健スタッフ，人事担当者，大学院生等の多様な職種で行う。
 開催日：年間4-5回，早稲田大学文学部等で開催。
 原谷隆史（主催）
 廣 尚典（こうかん会），
 三木明子（岡山大），
 島津明人（広島大），
 種市康太郎（聖徳大），
 大塚泰正，他
 （事前に参加申込，ビジ
 ターも可）
-